

第2回上天草市まち・ひと・しごと創生推進会議（議事要旨）

1 日時 平成27年9月29日（火）午後3時00分～午後5時25分

2 場所 上天草市役所大矢野庁舎 書庫棟2階会議室

3 出席者 別紙のとおり

4 議事次第

- （1）開会
- （2）今後のスケジュール（案）
- （3）上天草市総合戦略（全体像）について
- （4）ワークショップ
- （5）閉会

5 配布資料

資料1 上天草市まち・ひと・しごと創生推進会議スケジュール（案）

資料2 上天草市まち・ひと・しごと総合戦略の全体像（想定）

6 議事概要

（1）開会

○事務局より、第2回会合の開会を宣言。構成員が5名欠席となる旨を報告し、議事進行を座長に依頼。

（2）今後のスケジュール（案）について

（3）上天草市総合戦略（全体像）について

○事務局より資料1から資料2について説明

（座長）

- ・（資料1について）前回の議事録の中で、堀江市長から今年1年はいろんな事を考える年だということで、ありがたい言葉をいただいている。前回の会議で示された10月末で終了するスケジュールはあまりにもタイトであったので、今回のスケジュール案のとおり期間を少し伸ばしてもらった。
- ・1ヶ月後には第3回が開催される予定となっており、議論ができるのはこの回までと思っている。スケジュール等でご希望等があれば事務局に

確認していただきたい。

- ・資料2について、上天草市まち・ひと・しごと総合戦略は、市の総合計画の中から雇用や若い人達の住まいと暮らしに関わる部分を活用する話であったが、元々の総合計画が観光面を重視しているものとなっている。それに加えて上天草に住んでいる人が幸せになることをやっていきたいというのは堀江市長の考えであると認識している。上天草市に住んでいる人が幸せになるような計画を練っていきたい。

(4) ワークショップ

(座長)

- ・今日のワークショップは、SWOT 分析を行っていききたい。
- ・総務省が言っているまち・ひと・しごとの中では、基本目標1～4が大事だと言われています。地方における安定した雇用を創出すること、地方への新しい人の流れを作ること、若い世代の結婚、出産、子育ての希望を叶えること、時代に合った地域をつくり安心な暮らしを守るとともに、地域と連携すること。この4つです。これを誰がするかというのは簡単にいうと上天草市役所の方と市民の方です。
- ・今は、昔みたいにほっといても人が増えるとか現状維持ができるのではなく、上天草らしい何か新しいことを創出することが大事になってきます。
- ・今日は地方創生におけるいくつかの取組みを皆さんにご紹介したい。
→別府の混浴温泉世界というアートフェスティバルにおいて総合デザイナーとして活躍している芹沢高志さんをご紹介します。
総務省の関係でよく用いられる人口予想図では、20年後には人口が半分になります等、悲観的なものばかり見せられるが、よくよく考えてみれば、日本の人口は今が一番多くて減って行くことばかり注視されているけど、減っても江戸時代くらいの人口にまでしか減らない。当時に比べれば、携帯もあるし、ITも進んでいるし、少ない人数でいろいろな仕事ができるので、人口が減るのは別に怖いことではない。最近は僕らが想像できないような事件が起きている。芹沢さんに言わせると「想像力の欠如」だと。だから人口が減ることは怖くないけど、想像力が小さくなってしまい、誰かにルールを示してもらわないと何もできず、新しいことさえできない。そのような世の中になっていて、自分自身の能力が落ちる。機械でもできるようなことをわざわざ人間がやることの方がよっぽど恐ろしい。と言っている芹沢さんがカッコいいなと思ったのを覚えている。

→長野県小布施町という小さな町でアイディアマンの市村町長に一番信頼できる若者を紹介して欲しいとお願いして連れてこられたのが大宮さんです。この筋の方々からは大変有名な方でファンもいます。彼は「若者会議」というものを大勢で手掛けていて、全世界から若者が集まり小布施のいろんな暮らしを変えていこうと取り組んでいます。地元出身者ではないのに必死に小布施のことを考えてくれています。上天草市もそんな風になったら素敵じゃないですか。

僕たちはまちづくりと言え、どうしても巻き込もうとか、熱い人達の集まりになってしまいがちですが、彼は非常に冷静で人が何を求めているが聞いた方がよいと。だから巻き込むよりも巻き込まれた方がよいと言ってきて、僕はすごく腑に落ちました。市の職員の皆さんは仕事としてまちづくりをやっていて、いかに多くの人を巻き込むかを考えると思いますが、なかなか思いどおりにいかないと思います。理由は簡単で市が求めているニーズがないからです。じゃあそれで完結していいといいわけではなく、実は市民の皆さんを信じるのが大事で上天草市民の皆さんは上天草市が良くなってほしいと思っています。いろいろな理由で上天草市に期待をしています。期待はあるけど、今の市役所のやり方では合わない。そこをどうマッチングするのかというのが大事で、そのためには大宮さんがおっしゃている「巻き込むより巻き込まれる」が大事なかなと思っています。

→僕が熊本で 10 年間こういう仕事をしてきて 1 番感銘を受けたのは、今の地方創生の旗手的な位置付けで頑張っておられる大南さんなのですが、大南さんは徳島県の神山町で「グリーンバレー」という NPO をやっておられます。徳島県は、人口が少ない割には JR の線路を通じて光が整備されていて、通信環境がめっちゃめっちゃ良く、このネット環境を売りに東京の IT 企業のサテライトオフィスを誘致するとともに、過疎対策と移住定住施策をものすごく進められていて、町が行う移住定住の窓口をグリーンバレーが請け負われている。大南さんも芹沢さんと同じで、人口が減っていくことは日本全国でそうなのだから仕方がないと。じゃあどこまで減らしてもいいのか、という時に神山町は「小学校をなくさない程度に人口の減りを止める」ということにしている。神山町では、年間 20 組を移住させることを目標とし、その 20 組の内の 10 組は子どもがいる家庭を優先的に受入れています。こういうことは、個人情報の問題もあり、公的な機関は対応できない。グリーンバレーのもう一つの仕事は IT 企業のサテライトオフィスを誘致することです。IT 企業などは、モバイル環境が整っていれば仕

事が可能であり、空き家をリノベーションしてサテライトオフィスとして貸し出している。こういったところを拠点として仕事をするところ飯もうまいし、水も美味しいし、安心だし、なんといっても居住費が安い。さらに仕事もバリバリできるので、若者たちが働き、外部に対してもどんどん情報発信をしてくれる。これで好循環を生んでいます。元々グリーンバレーとは、異文化交流を行う組織で、それが縁で海外交流をされていました。組織が大きくなると役所の方々と一緒に仕事をする機会が増えてきたが、役所の方々は「前にやろうとして失敗した」、「前例がない」などといってブレーキをかける方々が多い。それを大南さんたちは「アイディアキラー」と呼んでいる。公務員は新しい事をやるのが不得意ですね。このアイディアキラーは特定の人のみではなくて、ほとんどの人中にあるものです。大南さんの留学先のスタンフォード大学では、「俺はこんな大きな失敗したぜ」というのが、すごく誇りになるそうです。僕がアメフトをやっていたときの恩師が「一番最悪なのは、失敗をしたことを隠してしまう人だ」言っていました。なぜ悪いかというと後続が同じ失敗をしてしまうからです。失敗を共有してリカバーすることが大事かと。

大南さんは「やってええんちゃうん」というのが口癖で若い子の提案を受入れて、失敗したら直したらええやんというスタンスなので僕はすごく素敵だなと思う。

神山町が受入れる20組の移住者のうち、残りの10組は大南さんが逆指名をしている。例えば東京でフレンチの腕の良いシェフ2人を呼んで、定期的に異業種交流会を開催している。いろんなところから帰ってきた若者とかが集うような場所を作られています。

神山町では、Hidden Libraryという芸術作品として、1人が3冊まで未来永劫本を収蔵しておけるコンセプトの図書館があり、ここに本を預けたいと町外から引っ越してきた方が2人おられる。こういう風な人口増も面白いし素敵だと思う。今日は皆さんにこのようなアイデアをどんどん出していただく会なので、最初に紹介してみた。

阿蘇一の宮に門前町商店街若きゃもん会という会があり、商店街を活性化させようといういろいろな取組が行われている。例えばお座敷商店街をやってみたり、アイデアを出して一斉に代替わりしたり。自分たちでやることにすごく自身を持っておられる。なぜそれができたかというと、上の世代とうまい事やっているからです。上の世代の方の理解がすごく必要だということを感じた。

天草の廃校になった富津小学校の教頭住宅を僕らがラボとして借り受

けていろいろと活動しています。些細なことですけど、ここ最近で僕が嬉しかったことです。

(映像再生)

昨年の夏に天草の崎津港フェスティバルがあって、いまいち盛り上がりがないので、どうやったら若い人が集まるか考えてくれと依頼された。その時に出した結論が河浦高校のみんなとプロモーションビデオを作成するというのをやりました。河浦高校は閉校が決まっていて、既に1年生がいない状況。せっかく世界遺産登録されるのに、その地域に小学校も高校もないとなった時に彼らと一緒に天草伝統の凧作りや海岸をビーチコーミングして採った貝殻を工作教室したりして、地元を盛り上げていく。地元になりたいという人達の気持ちを揺すぶれた。地方創生と子どもたちはすごく大事な関係だと思っている。前回の会議でも上天草高校のみんなというのを話したが、若い人たちが愛想尽かして「もうこんな所にいても仕方がない」という様なところは多分だめである。上天草市で就職したいとか、上天草市で子どもを育てたいとかって思ってもらわないと多分上天草市の未来はないですね。じゃあどうやったら上天草市に若い人が残ってくれるかというのを今から皆さんに考えていただこうと思います。このプロモーションビデオは残念ながら昨年この祭りの会場で流すことができなかったけど、世界遺産のシンポジウムの時に流したら地元の皆さんに喜んでもらえた。今年も続編を作った。子ども達が動くとき年配の人やすごい怖そうな顔をした人たちも手伝ってくださったり。小さなことでも良いのですが、何かひとつ変わると連鎖的に変わっていくものです。上天草の市長がやる気があるというのは皆さんにとってすごくプラスです。今変わらないといつやるのということはすごくあると思います。

- ・ それでは、今から1時間程度ワークショップを行っていきたいと思います。SWOT分析を行います。Opportunityはチャンスや好機という意味でThreatが脅威ですね。まずは、自分の良い所と悪い所を書きます。己を知り、敵を知ればという状況が大事です。今から各チームで上天草市の長所と短所を出してもらい、日本全体で今どんなまちづくりとしてどんなことがあっているか。まずは話合ってどんどん「S」、「W」、「O」、「P」を書き出してください。

○ワークショップ(10分)

- ・ 今から自分の班が考えたSWOTを使って将来分析をしていきます。継

続発展と新しい発展に分けてもらいたい。今から皆さんにイノベーターになってもらい、妄想してもらいたい。さっきの神山町の話を上天草市でもイノベーションを起こそうというぐらいのつもりで気楽に考えてもらいたい。今までありそうでなかったものとか。イノベーションはゼロからは起きない。基本的に元々あるものから何か手を加える。その加える時に今まで思ってもみなかった使い方をする必要がある。イノベーションというのは身近にあって、今から皆さんに将来分析をしてもらおうと思います。簡単なところはS×Oですね。自分たちの得意なところ。もう一方がW×Tですね。超悲観的でダメダメな感じの予想。大事なのはこっち側の新しい展開の方で今日皆さんに考えていただきたい。今は強みだけど、世の中的に言うといろんな問題があって、例えば上天草市は魚が美味しい。けれども全国的にいうと少子高齢化とか、海運業とか、今油が高くてどうにもならないとか、後継者不足とか。いつまでも上天草は魚の美味しいところであってほしいし、漁業関連の仕事が欲しいので、例えば上天草に漁業関連の専門学校をつくったりだとか、すごい補助金を国から取ってきて若手の乗組員を育てるような特区みたいにするとか。今は長所だけど世の中的にはいろんなピンチがあるので、ピンチになって他と一緒にならないように長所を残すような転ばぬ先の杖の方策。こういうのがほしいです。考えやすいのはピンチをチャンスにすることが結構大事です。せっかく行政の方と民間の方がおられるので行政の方は今までいろいろとやってきた事例を、民間の方は民間ではこう考えるんだよみたいなところをちょっと話合ってもらって、もしイノベーションが1つでも生まれたら是非市長にやりましょうと言ってもらって「うん」と言ってもらったらそれがこの会の成果になると思います。これから20分間やってもらいます。

○ワークショップ（20分）

- ・最後に各班でS×TでもW×Oでもどちらでもいいので、1つだけ発表してください。同時に、今日のワークショップを振り返りたいので、配っている白紙に今日のワークショップで良かった事、悪かった事、班の提案以外にあなたがやってみたいことと名前を書いてください。
- ・それでは、1班から順次発表してください。
（1班）
- ・「W」で交通渋滞が激しい。「O」で観光列車が人気。というのが出たので、三角駅から上天草市までJRを延伸させて駅を造れば、渋滞緩和

して上天草市も良くなるのではないかと。すぐに実行するのは難しいので、それに替えて観光バスや観光船を使って客を呼び込むというのはどうかとみんなで考えました。

(座長)

- ・素晴らしい。古い路線計画を見ると、天草に鉄道をというのがある。長期的に例えば五島列島では電気自動車を走らせていて、その車には限界があるので、路線軌道系で何かやろうというのがあります。路線系というのは全然有りだと思います。ありがとうございました。次2班お願いします。

(2班)

- ・弱みとしては、公共の交通機関が不便であるという所と、チャンスとしては海がきれい、無人島が多い、景観がきれいという所で、島渡るような無人島も沢山あるので、無人島間を渡っていくような施策を創り、無人島にお店等を作ってみてはどうかとの意見がでました。

(座長)

- ・無人島に店は難しいですね。なんか良いアイデアないですか。実は今年の起業塾で天草高校の生徒が同じことを考えていて、彼らはアウトドアが流行っているので無人島でキャンプをするツアーを船を使ってやったらどうなるかというのを話していて、高校生くらい頭が柔らかいということですのですごく良いことです。それに妄想をどんどんくっ付けていくともっと良くなると思います。無人島だから夜遅くても怒られない。とかいろいろとあると思うので、もう少し膨らませてみてください。次3班お願いします。

(3班)

- ・まず、悪い点として良い食材が上天草市には多いですけど、なかなかそれを都市圏の方々に伝えられていないという所。その反面、天草の食材の人気は非常に高くなっており、昨年だけでも上天草関係の事業者から直送で送る店舗が70店舗まで拡大するくらい人気が高くなっています。その2つをくっ付けて、地元の農家や漁家と都市圏の飲食店をつなぐシステムを構築して、タブレットを活用して取引ができるの良いのではないかと思います。

(座長)

- ・なぜこれが今できていないのですか。

(3班)

- ・予算的な面が非常に厳しいのと、参考になる事例がないところです。

(座長)

- ・生産者が手軽に販路を獲得できるようになれば良いということですよね。その辺を勉強してやれたら良いですよね。次4班お願いします。

(4班)

- ・W×Oでイノシシの増加というのと外国人の増加というのがあったので、ハンティングなんかはどうだという突拍子がない話から「ハンティング特区」というのが出てきました。実際に対象者は全然詰めていませんが、どこの自治体もイノシシには大変苦慮されているようなので、ハンティング特区を設けてイノシシの駆除にも貢献できれば一石二鳥ということで話がまとまりました。

(座長)

- ・ありがとうございます。個人的にジビエが大好きなので、是非やってもらいたいと思います。今、五木村でも実際にやろうとしていますけど、日本のジビエの販路は加工所がないんですよ。それが一番ネックです。天草でもしし肉でカレーや味噌煮込みなど、日本人は（本来の）味を隠そうとしていますが、自分の知り合いの料理家は本来の肉の味もっと日本人に知ってもらおうという逆の活動をしていて、だから特区ってすごく可能性があって、なるべくイノシシを傷つけずに狩る手法が考えられていて是非その猟師に会わせていただきたいと思います。次5班お願いします。

(5班)

- ・Wで農家の高齢化とか廃校というのが挙がって、そういう問題もあるけど、1号橋が新しくできることを「O」として、それを組み合わせて今流行りの発酵食品を空いた学校で、お年寄りの漬物の知識を入れて作るというところで、例えば1号橋から5号橋の漬物を作りだして売り出す。1号橋は新しいのと古いがあるので「高菜漬け」、2号橋は丸いのが付いているから「黄色の大根漬け」、4号橋が一番長いので「ごぼう漬け」、5号橋は赤いので朱次郎を使った漬物とかというところでまとまりました。

(座長)

- ・これはすごいですね。もうやれそうな感じじゃないですか。元々僕は土木の出身なので、土木技術の当時の最先端技術だったことを知っています。発酵系が今うけているんですね。後で詳しく教えてください。最後に6班お願いします。

(6班)

- ・好機というところで海外からの観光客が増えているとか、海外の方が日本の古い暮らし方に興味が高いということで、弱みの部分は外国語対応

という部分が未整備な所が多いとか、空き家が増えてきているという所を掛け合わせて、移住対策として思い切って外国人の移住促進をしてはどうかと思ってます。それで、外国人が住む際に昔ながらの古い空き家を使って滞在してもらったり、寺子屋のような形で移住者が講師になって地域住民の方に外国語を教えるなどのコミュニティを作ってそれが結果的に上天草市から排出する人材の国際感覚というものが身に付き、観光に適したり、海外とのビジネスに適した人材が輩出できればいろいろな将来展望が期待できるという話に結論付ける。

(座長) ありがとうございます。これもすごい。キーワードは「思い切り」だったり、「突拍子もないこと」ですね。今までの考え方に捉われると妥当な線しか出て来なくてすごく良いと思います。外国人対応だからこそ何かしてあげるのではなく、してもらおう。ビジネスチャンスがあって逆に上天草の人がそれを教えてもらおうとかっていうのはすごい。いろいろな可能性があると思いました。6つの班の意見については、後で市長に報告してほしいと思います。もし実現するとなった場合は、各班に責任をもってやってもらおうと思います。最後に事務局にお返しします。

(事務局)

- ・今日は2時間程ありがとうございました。次回の第3回の会合は10月20日の開催を予定しています。時間と場所については未定ですので、決定次第ご連絡します。本日はありがとうございました。これにて第2回まち・ひと・しごと創生推進会議を終了とさせていただきます。

第2回上天草市まち・ひと・しごと創生推進会議 出席状況（確定版）

（五十音順、敬称略）

氏名	所属等	出席
石炭 圭一郎	上天草市建設部建設課 係長	○
入口 紘光	上天草市経済振興部観光おもてなし課 参事	○
岩崎 敏治	株式会社隆勢 代表取締役	○
岩原 慎一郎	株式会社肥後銀行大矢野支店 支店長	○
大野 公二郎	上天草市総務企画部総務課 係長	○
片島 荷風	デザイナー	○
北垣 洋	北垣水産	○
木下 榮	上天草市セカンドライフ支援ネットワーク 会長	○
迫本 潤一郎	上天草市経済振興部農林水産課 課長補佐	○
篠田 良	上天草市教育委員会事務局教育部社会教育課 係長	○
杉本 健一	一般社団法人天草四郎観光協会 事務局長	
園田 健吾	上天草市総務企画部総務課 主幹	
田口 英明	上天草市教育委員会 教育指導員	
田中 尚人	熊本大学政策創造研究教育センター 准教授	○
田中 道範	上天草市社会教育委員長	○
寺中 寛人	上天草市経済振興部産業雇用創出課 参事	○
永野 富子	上天草市健康福祉部健康づくり推進課 係長	○
西川 みち恵	社会福祉法人上天草市社会福祉協議会地域福祉課 課長	○
西原 一雄	上天草市建設部都市整備課 参事	
一 喜美男	熊本県天草広域本部 総務部長	○
濱田 真和	株式会社マルマサ浜田鮮魚 取締役	
濱崎 富雄	上天草市教育委員会 中央公民館長兼市立図書館長	○
深谷 恵了	姫戸ひかり保育園 副園長、寺院僧侶	○
益田 佳世	上天草市健康福祉部福祉課 係長	○
松本 俊博	熊本県立上天草高等学校 教頭	
宮内 勝幸	あまくさ農業協同組合大矢野統括支所 指導販売課長	○
森 隼人	上天草市健康福祉部高齢者ふれあい課 参事	○
矢田 健一郎	株式会社熊本銀行大矢野支店 支店長	○
吉野 誠	上天草市市民生活部環境衛生課 主事	○
吉本 博明	上天草市市民生活部税務課 主幹	○
渡邊 一成	天草信用金庫企業業務部・地域創生室 理事部長	○